

令和5年度活動報告				
回	日時	報告事項	協議事項	その他
1	4月20日 木曜日 16:00～	①令和5年度新会長紹介・船尾 聖会長（会長より自己紹介）並びに新委員紹介・挨拶 大場委員長期満了 ②令和5年度教職員異動及び職員体制 ③学校経営方針（道徳の指導を研究推進、特別活動の指導に重点を置く） ④令和4年度協議会決算報告 ⑤令和5年度協議会予算案 ⑥教育活動の様子	①学校運営協議会年間計画（当初の11回から区教委の通達により最大9回実施） ②各部の取り組み（令和5年度：会長職務代理及び、広報部会、地域部会、調査部会組織継続。調査部会より：7月下旬教職員アンケート実施。1月頃保護者アンケート実施） ③広報部年間計画（年間計画は今後検討提案）	学校支援本部より（今年度の活動の検討等）
2	6月22日 木曜日 16:00～	①教育活動の様子・運動会振り返り（テントが観覧を妨げる点の心配があるも保護者アンケートは概ね良好。また校庭の安全点検について、釘・金属片についての経緯を含め説明を行う） ②各部からの報告（地域部会より：永福稲荷神社での夏祭りを開催予定。子供神輿・山車を引く子供の募集を希望するも、諸課題があり今後検討とした）	①学校運営協議会年間計画確認（計画のとおり了承された） ②学校運営協議会だよりについて（本校校となり印刷・発行へ） ③令和5年度協議会独自アンケートについて（今年度は教員の「仕事と精神的負担」又は「協議会についてどのように感じているか」のいずれかで実施の提案があり、精神的負担をメインとして協議会の内容を精選し盛り込むことで検討となった） ④7月意見交換会について（昨年度の方法で実施することで承認された）	学校支援本部より（3年：郊外学習に慣れるため、またたんけん引率。5年：田植え実施。鯉のぼり掲揚。ミモザ公演。茶道・寺小屋・馬頭等）教室運営。七夕かざり等）
3	7月20日 木曜日 16:00～	①教育活動の様子（6・7月は暑さ指数に注意を払いながら外での活動を実施） ②各部からの報告（地域部会：永福稲荷神社の夏祭りについて、子供神輿・山車を引く子供の募集が可能となった。広報部会：学校運営協議会だよりが完成。次号はA3見開き版を作成し保護者アンケートを掲載予定）	①CS推進会議への参加（茨城での研修会終了報告） ②人事構想（来年度も19学級の予定。特別支援教室は通級児童数で職員数が変動するため、判定会の結果で変動する可能性あり。SSSの日数・内容の拡大等人の配置を教育委員会に希望を出す。教員の現状や子供たち現状を協議会から伝えて行く。校長会とも連携したい） ③独自アンケートについて（アンケートの文言・表現・内容について検討する。実施は夏休み後半とすることで承認）	学校支援本部より（七夕かざり、お焚き上げ実施。お月見会検討。サマーキャンプを7/22-23に実施）
4	10月26日 木曜日 16:30～	①教育活動の様子・学力調査の結果について（報告書を基に説明あり。校長より：杉並で給食無償化が開始と指導要綱失効の報告あり。本校は問題無し。管理について職員には指導を行っている。弓ヶ浜移動教室は今年度が最後となり来年度からは募料・白樺湖にて実施予定。5年の富士移動教室も今年度から山中湖畔の宿舍へ変更となったが、3日間天気にも恵まれ活動が積極的に進められていた） ②各部からの報告（地域部会：10/29に商店会のお祭りを開催。以前のように今後も学校と連携した活動を希望。また、永福稲荷神社でのお祭り開催報告あり、大人神輿が出て大盛況であった。広報部会：今回の広報誌を3月に配布。保護者アンケートを今後提案する）	①令和6年度人事構想（校長より：新1年名簿登録は約150名となった。就学時健康診断での来校は130名を超え、入学は120名程度が見込まれる。また、職員の異動者が多い年になる見込み。会長より：協議会より高学年の担任経験者等を要望する。協議会公募は優先事項となるので優先的に人事を行ってきたい） ②教職員アンケート結果について（調査部会より：今回のアンケートの狙いは意見を聞くだけではなく、教員間での情報共有。アンケートの結果において教員はイベントに対する負担感をもっているとの由だが、イベントの位置づけや内容が明確ではなかったため、今後の課題として認識するとともに、前向きに取り組めるようアンケート結果の周知を希望する）	学校支援本部より（2年：またたんけん、手話教室。3年：弟子入り体験。5年：着付教室。6年：お仕事博覧会。全学年：お月見の会）
5	11月10日 金曜日 16:00～	①教育活動の様子（11/1に避難訓練。おおぞら公園まで2次避難実施。全校が一堂に会して移動する機会が少ないため混乱が予想されるも、所要時間20分で整然と移動ができた。同日2年2組にて「信頼・友情」について深めることをねらとした校内研究授業を実施。講師よりお褒めの言葉と道徳教育基本事項と併せて今後の進め方や視点等についてご示唆いただく） ②各部からの報告（地域部会：商店街オタムフェスティバルを盛大に開催。来年度以降も学校との連携を希望。また、70周年同窓会を無事挙行。広報部会：アンケート結果報告のためのCSだより作成説明。調査部会：アンケート内容を検討）	①令和6年度のCS構想について（校長より：令和5年度の内容を継続したい旨説明があり承認） ②令和6年度の主要行事日程について（校長より：概ね杉並区の標準日程で構成。例：運動会5月、学習発表会11月等。また、土曜授業に係わる方針について説明あり） ③保護者へのアンケート内容・構成について（質問事項を少なくする。習い事、外での活動・遊びを調査する。家庭学習の習慣化・学力定着等を目的として宿題についての保護者の意識を確認する。行事や学習活動への保護者協力の意識を確認する等、調査部会がまとめる）	会長より（10月末に杉並区学校運営協議会連絡会への参加報告。杉並区の総合計画改定に関する意見書提出） 学校支援本部より（お月見の会実施。200名以上の参加で盛況）
6	1月18日 水曜日 16:00～	①教育活動の様子（12/9に永福マラソン実施。昨年より時間走にて行われているが、意図的な活動がされていることを実感した。また、大谷選手より寄贈されたグループのお披露目や2/25に北海道名寄市より移動天文台車「ボラリス2号」が来ることが決まった。年末年始に発生した痛ましい交通事故や能登地震を受け、子供へのケアを行うとともに安全指導を行った） ②各部からの報告（地域部会：2月節分祭は感染症対策のため豆まきを中止した。調査部会：年末実施の保護者アンケートについて報告。今後の活かし方を検討依頼。広報部会：3月に広報誌を発行。保護者からの要望や質問を重視し、質問等に答えることで疑問に解消に努めていくことを確認）	①教職員アンケートについて（支援本部が実施している行事関係は学校からの依頼のもの。不要であれば実施しない。校長より：年度当初にコロナ後の学校運営に見直しを支持。委員を含め今後の実施判断を検討して行く） ②令和6年度の教育課程について（校長より：小中連携の取組を推進する。向陽中・高三小との連携強化を図る。小学校で経験や体験したことが中学校に進学しても系統的に取り組むことが重要。そのため地域人材や大学生の力を生かした計画を立てて行く） ③情報交換について（校長より：区による教育調査結果の報告。会長の紹介により大学生ボランティア1名活動中）	学校支援本部より（馬頭等教室終了。5年：米作り。脱穀・精米し喫食。餅つき。2年：焼き芋。3年：草木染め。その他：ユニバーサルスポーツ「ポチャッ」体験。4年：福祉授業実施）
7	2月15日 木曜日 16:00～	①若手教員より～1年間の学び～について報告（昨年度からのつながりにより楽しく幸せな一年となった。昨年度できなかったことにチャレンジができて成長の一年となった。担任として子供たちの成長に関わられた。困った際に周りの先生や地域の方に助けていただき乗り越えられた） ②教育活動の様子（新学期早々に書き初め実施。立派な作品が完成し1/20の土曜授業にて保護者が鑑賞。6年は中学受験を控えていたが、今年度は受験日ぎりぎりまで登校する姿が多く見られた） ③令和6年度新1年生について（127名入学予定。教室数は現状であれば足りる） ④各部からの報告（広報部会：広報誌発行。表紙は「宿題について」その他保護者からの質問・意見を4点取り上げ広報誌で回答することとする。また、アンケートの回収率について討議。）	①小中連携について（校長より：向陽中・高三小との連携強化を図る。杉並区教育委員会にも連携強化推進のためプレゼンを実施。予算承認を期待） ②令和6年度の学校運営協議会について（来年度は11回実施。前々年度の回数に戻す。また、中学校との連携CSを実施したい）	学校支援本部より（紙ヒコキ大会とミモザ絵巻公演終了報告）
8	3月7日 木曜日 16:00～	①教育活動の様子（2/17に道徳授業地区公開において保護者が来校し発表を実施。学年・学級に温度差があり、今後道徳的価値について学校と家庭とが協働して行く一歩としては今後の課題とした。また、本校の特色でもある地域の力を借りての学びにおいて、4年：2/22ダブルダッチ教室、6年：茶道体験と読み聞かせスペシャルを実施した） ②令和6年度の取り組み経緯について（調査部会：来年度の豆まきについて学校を借りて実施することを検討。調査部会：来年度のアンケート内容を検討。広報部会：広報誌校訂）	①令和6年度教育課程について（校長より：来年度の土曜授業は6月と1月がマイナス1回となるが、保護者に対してはいつでも参観可能であることを伝えている。来年度も定数でできることの説明あり） ②令和6年度の人事について（人事異動者が多いが、それをも上回る教員が配置される。本校以外の現状として教員が不足。特に若い教員が辞める傾向がある。魅力ある職場にするために創意工夫が必要である。本校では「6年生を送る会」において、教職員全員で「世界に一つだけの花」を歌いはなむけとした） ③情報交換について	学校支援本部より（6年：読み聞かせスペシャル）